

## 今後の取組

## 1. 医療現場のニーズを踏まえた開発・事業化

- 医療現場のニーズを踏まえた医療機器の開発・事業化に当たっては、医療機器開発支援ネットワークの強化などを通じて、医療機器メーカー、部材メーカー、医療従事者、販売事業者間の連携が不可欠。

医療分野に加え、我が国が強みを持つ異業種（素材、光学・産業機械、電機電子、自動車部品等）が有する高度な技術等を積極的に取り入れ、リーダー人材・開発人材の育成と合わせて、開発・事業化を加速。

また、地方創生につなげるべく、伴走コンサルの地方開催の強化により、各地域の医療機器開発を活性化。

- 医療機器開発のイノベーションを創出し続けるため、基礎的な研究開発やその成果の活用を強化。また、AMED を中心に臨床価値に基づく医療現場のニーズやシーズを研究開発・事業化につなげる取組を強化。
- 効率的な臨床開発を進めるため、疾患登録システム等の環境整備を推進。

## 2. 国内外の医療現場への販路開拓

- 国内外の医療現場への普及を加速すべく、関係機関が連携し、調査や FS 事業などを通じて、相手国・地域のニーズに合った性能や価格水準などの実情を踏まえ、医療従事者の研修トレーニング、メンテナンス体制の構築、産学官連携による実用的な評価法の開発と国際標準化の強化等と合わせて展開。